



会 期：2014年7月30日（水）、7月31日（木）
会 場：慶應義塾大学芝共立キャンパス（東京都港区芝公園）
大会長：水島 徹（慶應義塾大学薬学部分析科学講座・教授）



ご挨拶

第30回日本 DDS 学会は、「温故知新 DDS-30年の歴史と未来」を主題に掲げて、7月30日と31日の両日、慶應義塾大学芝共立キャンパスで開催することになりました。

日本 DDS 学会はめでたく30回大会を迎えました。発足当時は一部の研究者だけで通用した DDS という言葉は今では一般の方にも広まり、改めて30年の歴史と本学会が果たした役割の大きさを感じます。

本学会では、30回大会を記念し、学会発足当初からのメンバーであり、理事長経験者でもあります、橋田充先生、岡野光夫先生に DDS 学会の歴史を振り返って頂きます。一方、これからの本学会を担っていく若手の研究者に最先端の研究と、これからの DDS 学会の展望を発表して頂きます。

特別講演では、産業総合技術研究所の夏目徹先生をお招きし、創薬のための分子プロファイリングに関する最近の研究成果をご発表頂きます。さらに、ケミカルバイオロジーの第一人者でかつ、我が国のアカデミア発創薬をリードされてきた、東京大学の長野哲雄先生をお招きし、大学発新薬創出に向けたオールジャパン創薬探索拠点と題してご講演頂きます。

また本学会では、日本発の DDS 創薬を活性化するために、企業とアカデミアのマッチングのための企画を催します。企業からは創薬に必要な DDS 技術を、アカデミアからは企業に使用して貰いたい DDS 技術を発表してもらう企画です。他にも、2つのシンポジウム、5つのワークショップを開催します。尚、全てのシンポジウム、ワークショップには公募枠を設け、皆様に積極的な応募をお願いしています。

我が国は長い不況の中で、一昨年3月には東日本大震災が発生し、それに引き続く福島原発事故で、更に経済状況が悪化しております。その様な状況下で、学術大会を開催するには、財政的に多くの問題と困難が生じます。したがって、皆様方から財政上のご支援を賜ることにより、充実した学術大会を開催し、社会の要請に的確に応えたいと思います。

以上、第30回日本 DDS 学会学術集会の趣旨にご賛同いただき、ご協力いただければ幸甚です。何卒、宜しくお願い申し上げます。

第30回日本 DDS 学会学術集会
大会長 水島 徹



1. 会議の名称

第30回日本DDS学会学術集会

(公式ホームページ：<http://www.procomu.jp/DDS2014/>)

2. 会議開催時期

2014年7月30日(水)、7月31日(木)

3. 会議開催場所

慶應義塾大学芝共立キャンパス

〒105-8512 東京都港区芝公園 1-5-30

TEL&FAX：03-5400-2620

4. 会議計画の概要

(1) メインテーマ：「温故知新 DDS-30年の歴史と未来-」

(2) 会議の構成

- 1) 基調講演
- 2) 特別講演
- 3) シンポジウム
- 4) ワークショップ
- 5) 共催セミナー
- 6) 一般演題発表

(3) 会議の日程(予定)

第1日目 7月30日(水)

- ・ 開会式
- ・ 大会長講演
- ・ シンポジウム
- ・ 特別講演
- ・ 共催セミナー(ランチョン等)
- ・ 評議員会
- ・ ワークショップ
- ・ 一般演題発表
- ・ 懇親会

第2日目 7月31日(木)

- ・ 総会
- ・ 特別講演
- ・ シンポジウム
- ・ ワークショップ

- ・ 共催セミナー（ランチョン等）
- ・ 受賞講演
- ・ 一般演題発表
- ・ 閉会式

注）学会開催期間を通して附設展示会が同会場にて行われます。

（４）参加者数

1000 名（予定）

5. 組織構成等

大会長

水島 徹 （慶應義塾大学薬学部・教授）

組織委員会委員

伊東文生 （聖マリアンナ医科大学医学部・教授）
 奥直人 （静岡県立大学薬学部・教授）
 片岡一則 （東京大学大学院工学系研究科/医学系研究科・教授）
 菊池寛 （エーザイ株式会社・理事）
 楠原洋之 （東京大学大学院薬学系研究科・教授）
 迫和博 （アステラス製薬株式会社・所長）
 鈴木洋史 （東京大学医学部附属病院薬剤部・教授）
 高倉喜信 （京都大学大学院薬学研究科・教授）
 武永美津子 （聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター・准教授）
 松村保広 （国立がん研究センター・部長）
 丸山一雄 （帝京大学薬学部・教授）
 山口俊晴 （癌研有明病院・副院長）
 横山昌幸 （東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター・准教授）

【学会事務局】

慶應義塾大学薬学部分析科学講座
 住所：〒105-8512 東京都港区芝公園 1-5-30
 TEL&FAX：03-5400-2620
 電子メール：dds30@pha.keio.ac.jp

【学術大会運営担当】

株式会社 プロコムインターナショナル
 〒135-0063 東京都江東区有明三丁目 6 番地 11 TFT ビル東館 9 階
 TEL 03-5520-8821
 FAX 03-5520-8820
 電子メール dds30@procomu.jp

6. 募金のお願い

6-1 予算案

(収入の部)

科目	金額	明細
(1) 学会参加費	10,900,000	
事前登録		
一般会員		250 名 × 9,000 = 2,250,000
非会員		150 名 × 18,000 = 2,700,000
学生会員		50 名 × 4,000 = 200,000
当日登録		
一般会員		250 名 × 10,000 = 2,500,000
非会員		150 名 × 20,000 = 3,000,000
学生会員		50 名 × 5,000 = 250,000
懇親会費	940,000	
事前申込		
一般会員		50 名 × 6,000 = 300,000
非会員		30 名 × 6,000 = 180,000
学生会員		10 名 × 5,000 = 50,000
当日申込		
一般会員		30 名 × 7,000 = 210,000
非会員		20 名 × 7,000 = 140,000
学生会員		10 名 × 6,000 = 60,000
(3) 寄付金	3,000,000	関係企業
(4) 共催セミナー	1,800,000	6 社 × 300,000 = 1,800,000
(5) 広告収入	1,300,000	
1) 表2		1 社 × 200,000 = 200,000
2) 表3		1 社 × 150,000 = 150,000
3) 表4		1 社 × 250,000 = 250,000
4) 後付1頁		5 社 × 80,000 = 400,000
5) 後付半頁		5 社 × 60,000 = 300,000
(6) 出展収入	6,100,000	
1) 機器、医薬品展示		20 社 × 300,000 = 6,000,000
2) 書籍		1 社 × 100,000 = 100,000
(7) 抄録集販売	30,000	20 冊 × 1,500 = 30,000
(8) 学会本部補助金	5,000,000	
合計	29,070,000	

(支出の部)

【事前準備関係費】

	項 目	金 額	備 考
(1)	印刷製本費&消耗品費	5,500,000	ポスター、抄録集等
(2)	ホームページ製作費&参加登録・演題登録管理	1,000,000	ホームページ等
(3)	事前準備処理業務代行関係費	3,000,000	事前参加・演題登録作業
(4)	通信運搬費・交通費	400,000	抄録集送付、各種郵送費、交通費等
	計	9,900,000	

【当日運営関係費】

	項 目	金 額	備 考
(1)	器材	5,500,000	映像・音響・照明機材
(2)	備品 (ネームカード・文具 他)	700,000	参加証、文具等
(3)	看板・表示板	800,000	吊看板、立看板、表示板等
(4)	当日運営臨時スタッフ	1,300,000	アルバイト雇用費
(5)	当日運営責任者	1,300,000	
(6)	ポスター・展示	1,500,000	ポスター・展示パネル等
(7)	懇親会費	1,350,000	150名×@9,000円
(8)	会議費	500,000	役員会、各種委員会、事前打合せ等
(9)	会場費	2,500,000	会場借上げ料
(10)	講師関係費	3,500,000	謝金、交通費、宿泊費等
	計	18,950,000	
	予備費	220,000	
	合計	29,070,000	